

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人江東区文化コミュニティ財団	
施 設 名	江東区江東公会堂（ティアラこうとう）	
助成対象活動名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内定額（総額）	17,942	（千円）
公 演 事 業	10,866	（千円）
人 材 養 成 事 業	3,828	（千円）
普 及 啓 発 事 業	3,248	（千円）

(2) 平成30年度実施事業一覧

【公演事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、 スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	真夏のレクイエム こうとう2018	平成30年8月19日(日)	曲目：ブラームス/ドイツ・レクイエム作品45 指揮者：飯守泰次郎 管弦楽：東京シティ・フィル	目標値	600
		ティアラこうとう 大ホール		実績値	629
2	フレッシュ名曲コンサート オーケストラwithバレエ	平成30年10月14日(日)	曲目：グリーク/ピアノ協奏曲 イ短調、グリーク/「ペール・ギュント」 第1組曲・第2組曲(オーケストラwithバレエ)他	目標値	595
		ティアラこうとう 大ホール		実績値	602
3	ティアラこうとう・ジュニアバレエ団 第13回発表会 「バレエ・コンサート」	平成30年5月5日(土・祝)	構成・演出・振付 石井清子 指導 安達悦子、堀田麻子、高木糸子、志賀育恵(東京シティ・バレエ団)ほか	目標値	800
		ティアラこうとう 大ホール		実績値	808
4	ずばり!!クラシック 名曲コンサート	平成30年9月15日(土)	出演者：加羽沢美濃、奥村愛、萩原貴子、塚越慎子、小野弘晴、米津真浩、1966カルテット、ザ・フレッシュメン	目標値	600
		ティアラこうとう 大ホール		実績値	790
5	ティアラこうとうジュニア オーケストラ 第13回定期演奏会	平成30年9月2日(日)	曲目：「シルヴィア」組曲(バレエ付き)、ベートーヴェン/交響曲第6番「田園」ほか	目標値	700
		ティアラこうとう 大ホール		実績値	646
6	～小野明子&フレンズ Vol.4～	平成30年12月15日(土)	クライスラー/愛の喜び(Vn・Vc・Pf)、アイアランド/ファンタジー・トリオ(Vn・Vc・Pf)ほか	目標値	100
		ティアラこうとう 小ホール		実績値	140
7	猫沢エミ&スフィンクス 大江戸"E-DO、演奏会	平成30年4月13日(金)	曲目：Filiti can-canSphinxのテーマ、Colors、カナリア、AIR FRANCHESCAほか	目標値	84
		ティアラこうとう 小ホール		実績値	134
8	東京シティ・バレエ団/ ティアラ“くるみ”の会 「第33回くるみ割り人形」	平成30年12月22日(土) ～24日(月)	出演：ティアラ“くるみ”の会のこどもたち114名(オーディション) 指揮：福田一雄	目標値	2,587
		ティアラこうとう 大ホール		実績値	3,060
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	6,066
				実績値	6,809

(2) 平成30年度実施事業一覧

【人材養成事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、 スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	ティアラことうジュニア オーケストラ運営事業	平成30年5月12日(土)～平成 31年3月24日(日)	スーパーバイザー／飯守泰次郎、音楽 監督・指揮／佐々木新平、楽器演奏指 導／東京シティ・フィル楽団員 ほか	目標値	80
		ティアラことう 大ホール・音楽練習室		実績値	140
2	ティアラ・ジュニアバレエ 教室運営事業	平成30年5月13日(日)～平成 31年3月10日(日)	監修：石井清子 指導：東京シティ・バレエ団 安達悦 子、堀田麻子、高木糸子、志賀育恵 ほか	目標値	80
		ティアラことう リハーサル室		実績値	166
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	160
				実績値	306

(2) 平成30年度実施事業一覧

【普及啓発事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、 スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	東京シティ・フィルによる 楽器の公開レッスン	平成30年7月29日(日)	はじめての楽器体験コース 経験者コース、見学コース 講師：東京シティ・フィルハーモニック 管弦楽団楽団員	目標値	64
		ティアラことう 音楽練習室 ほか		実績値	参加者36 見学者28
2	夏休み！オーケストラ &バレエ体験	平成30年7月22日(日)	出演者：東京シティ・フィルハーモ ニック管弦楽団、東京シティ・バレエ 団	目標値	800
		ティアラことう 大ホール		実績値	922
3	Tiara Ballet Days 0歳 から入場OK！バレエ・ コンサートVol. 4	平成30年9月24日(月・祝)	出演者：東京シティ・バレエ団、東京 シティ・バレエ団附属バレエ学校、ナ ビゲーター・構成・演出：宮本益光	目標値	861
		ティアラことう 大ホール		実績値	805
4	花岡詠ニプレゼントKOTO ユースジャズフェスタ2018	平成30年11月11日(日)	出演者：花岡詠二KOTO・JAZZオールス ターズ 出場校：都立深川高等学校吹奏楽部 ほか	目標値	950
		ティアラことう 大ホール		実績値	入場者536 参加者151
5	Tiara Ballet Days おどってみよう！バレエ 体験	平成30年9月23日(日)	指導：東京シティ・バレエ団 芸術監督：安達悦子ほか	目標値	100
		ティアラことう 大会議室		実績値	55
6	ティアラことう 芸術提携団体 アウトリーチコンサート	平成30年5月～11月	東京シティ・フィルハーモニック管弦 楽団と東京シティ・バレエ団による区 内小学校プログラムと社会包摂プログ ラムを実施	目標値	1,300
		江東区内小学校、江東区内 老人ホーム		実績値	1,463
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	4,075
				実績値	3,996

【妥当性】

自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

江東公会堂のミッションである「地域社会の発展と、豊かな区民生活の実現」を実施していくために「育む」「創る」「繋ぐ」の3つのビジョンをもとに具体化した8施策のうち、「地域コミュニティ」「ジュニアグループ育成」「文化育成」「優れた舞台芸術の創造・発信」「提携団体定期公演」の5施策を、「公演事業」「普及啓発事業」「人材育成事業」のそれぞれのカテゴリーに分類し、実施した。

「公演事業」では、ティアラこうとうの主要な施設である大・小ホールにおいて8事業を実施した。ほとんどの公演で当初設定していた入場者・参加者数の目標値を超えたことや、公演終了後のアンケートの満足度などからも、江東区民が身近な場所（江東公会堂）で継続的に素晴らしい芸術鑑賞の機会を得たことを読み取ることができた。

「普及啓発事業」では、楽器のレッスンや公演への出演など、区民が直接的に気軽に芸術に参加し、体験することができるさまざまなメニューを6事業実施し、入場者・参加者数については、ほぼ目標の数値を達成することができた。

「人材育成事業」は、ジュニアオーケストラ、ジュニアバレエ教室運営事業を2事業実施した。江東公会堂に練習室やリハーサル室が併設されているというハード面の特徴にプラスして、江東区が東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と東京シティ・バレエ団の芸術提携2団体と提携を結んでいるというソフト面の特徴を最大限に活用し、両団の協力を得てジュニア2団体の指導を継続的に仰ぐことができ、課題としている「次世代育成」の中心的な事業を、年間を通じて安定的に運営することができた。

以上に記載のとおり、当初提出した要望書との齟齬が生じることなく、計画的に実施することができ、ミッションを達成することができたと考えている。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

目標値を設定する際の考え方としては、ホールのキャパシティや支出額に応じた料金、講師の指導可能な人数の範囲などを考慮し、各事業に適した設定を行った。

区民の文化意識の高度化と多様化を踏まえ、参加から参画へと時代に即した事業展開を図るため、さまざまな団体と「協働」し、地域コミュニティの活性化を図った。「バレエ体験や楽器の体験などを通じた人々の触れ合いや交流の場の提供」、「こどもたちの文化芸術への興味関心を最大限引き出し、豊かな感性と社会性を身に着けさせる」、「将来の芸術文化の担い手を育成することで、江東区での文化振興を次世代へ繋げる」など地域の中核劇場として質の高い舞台芸術を継続して区民に提供するために、助成金を有効に活用し、江東公会堂自らが企画制作・実施することで、地域の芸術、文化の発信拠点となることができた。

【有効性】

自己評価

目標を達成したか。

(1) 公演事業

- ①魅力的な公演を実施することにより、友の会会員数、インターネット会員数、それぞれ現状より1%増することを目標とした。
⇒結果、友の会会員数9%増、ネット会員数25%増となった。
- ②各公演とも、入場者数の目標値を達成するとした。
⇒1事業のみ92.3%であったが、それ以外はすべての公演において達成することができた。
- ③公演ごとにアンケートを実施し、それぞれの公演に関する満足度が75%を獲得することができるとした。
⇒満足とやや満足を合計して、全事業において75%以上を獲得することができた。
- ④劇場ボランティアを募集し、会場整理の人員を確保するほか、公演曲目の選定にも参加していただき地域の文化芸術活動の担い手を育成するとした。
⇒参加人数は8人から14人に増加し、主に公演当日の会場整理やパンフレット渡しなどの業務に従事していただくことができた。

(2) 人材養成事業

- ①ジュニアオーケストラ、ジュニアバレエ教室ともに団員が80名になることを目標に設定した。
⇒前期、後期の合計が実績値となっており、オーケストラは10名の減であった。
バレエは目標(定員)数を数人超えて実施した。
※両事業とも半期に一度オーディションを行っており、実力が伴わなかったり、定員オーバーなどで受け入れ不可能なケースが多々あることを付け加えておく。

(3) 普及啓発事業

- ①いずれの事業も申込者は前年度を上回った。
- ②各事業とも入場者数の目標値を達成することを目標としていたが3事業が93.4%、72.3%、55%で未達成という結果となった。
今後いずれの事業も見直し、または廃止することを検討する。

【効率性】

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

全事業を通じて、当初の計画通りに実施することができた。
支出は、収入が予定当初の予算の範囲内（多くは90%以上）で執行していることから、概ね計画通りに進めることができた
と考える。

想定外の事項は以下のとおり。

●公演事業において

- ・来場者が想定より少なくなった公演があり、会場案内のレセプションの人員を削減したこと。
- ・本番中の託児委託の申し込み人数が想定より少ない公演については、支出を抑えることができたこと。

●人材養成事業において

- ・ジュニアバレエ運営の外部出演が、演出の度合により講師の指導回数が異なり、予測が難しく差違が生じたこと。

また事業内容に変更が生じたケースは以下のとおり。

●普及啓発事業において

- ・「楽器の公開レッスン」の楽器レンタルが不可能となり、初心者コースを取り止めた。

ただしこれ以外は予定通りに開催し、71.9%執行した。

これらは当財団予算の執行率であり、助成金申請額の執行率ではないことを付け加えておく。

収入は、達成率の高いものと低いものの差がある印象だが、全体でみると助成金を活用しながら計画的に実施することができた
と考える。

【創造性】

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

江東区は、平成6年7月にプロのオーケストラである東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団とプロのバレエ団である東京シティ・バレエ団と芸術提携を結んだ。

芸術提携の主旨は、音楽、舞踊における文化芸術を通じて江東区における文化芸術の振興・普及及び江東区民の自主的な創造文化活動の育成・発展に寄与することである。江東公会堂はこの芸術提携2団体とともに、区民に良質な芸術文化を発信するべく、劇場の機能をフルに活用し、さまざまな事業を展開している。

ジュニアオーケストラおよびジュニアバレエ運営において、両提携団体に所属するプロの講師陣の指導により、次世代を担う子どもたちの文化育成を行うことができた。江東公会堂は大・小ホールのほか、5つの練習室とリハーサル室、フルオーケストラの練習も可能な大会議室を持ち、全体合奏はもちろん、パート別、セクション別の分奏、初心者への個人レッスン等、様々な場面での指導が可能である。このきめ細かで幅広い指導を受けた子どもたちの発表の場である両ジュニア団体の公演事業を行い、地域の文化発信に貢献できたと考える。

楽器の公開レッスンでは、一般成人に対しても、プロの指導を受けられるよう門戸を広げた事業展開を行った。これも多種多様な施設の機能を最大限に発揮することのできた事業の一つである。

【創造性】

自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

公演企画の芸術性、独創性、新規性を発信するうえで特筆すべき事業は、両提携団体の共演として1995年から継続して実施してきた「オーケストラwithバレエ」である。当年度は、小学校の共通鑑賞教材の中から「ペール・ギュント」を選択し、区民にとってより身近な楽曲を、新作振付による江東公会堂（ティアラこうとう）オリジナルとして、創造し発信することができた。また、江東区を拠点に、高校と大学時代、音楽を学んだ新進気鋭のアーティストを起用して「ペール・ギュント」の作曲者グリーグのピアノ協奏曲を東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団との共演でプロデュースした。

「真夏のレクイエム」、「くるみ割り人形」、「オーケスト&バレエ体験」、「おどってみようバレエ体験」は区民参加型の事業展開を実現し、「0歳から入場OK!バレエ・コンサート」では、未就学児にも芸術への興味を引き出すきっかけとなるよう、オーケストラとバレエを親子で楽しめるコンサートを提供することができた。「芸術提携団体アウトリーチコンサート」は、日頃、劇場に足を運ぶことの少ない、あるいはあまり関心のない子どもたちに興味の種をまき、芽吹くきっかけづくりとなり、芸術提携を活かした江東公会堂（ティアラこうとう）のオリジナル事業として行うことができた。

【持続性】

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

江東公会堂（ティアラこうとう）は公益財団法人江東区文化コミュニティ財団が、江東区から指定管理者として受託している施設の一つである。平成18年度から指定管理者制度が導入され、以来5年に一度の事業計画書の見直しを重ね、現在3期目を迎えている。その間に公益認定も受け現在に至っている。独立採算が基本的な考え方であるが、江東区からの補助金を財源として運営していることから、できるだけ区の補助金に頼ることのない運営を目指し、さまざまな財源獲得のための努力を積み重ねている。文化庁をはじめとする公的な助成金制度や民間の助成金に申請を行っているのも、財源の確保の一環である。平成30年度については、公的団体2団体3事業、民間団体2団体2事業から助成金を獲得している。

職員については、当財団が指定管理を受託している施設に、音楽や美術、歴史、文学、民俗学など各専門分野を活かせる人材を採用し配置しているほか、社会教育主事、教員、学芸員などの資格を有した人材も多く採用している。また財団は定期的に人事異動を行うことで、一つの施設で個々の専門性を高めるだけでなく、新たな分野に挑戦できる機会を職員に与え、職員の個々の能力を高める工夫も行っている。

平成29年度からは、ホールボランティアの育成にも取り組んでいる。大・小ホールで行う公演事業のほかに、小学校に出向くアウトリーチ事業などで関わることができる機会を提供し、着実に参加者が増えている状況である。今後も予算措置を継続的に整え、芸術文化の貴重な担い手となるよう、ホール運営の実践を積める機会を提供していく。

今後も江東公会堂（ティアラこうとう）がその施設の機能を活かして事業を実施していくためには、相当な経費が必要である。しかしながら区からの補助金は潤沢にあるわけではないため、今後は実施していく事業を取捨選択する必要がある。その評価・判断をするための基準となるのが、公演終了後に作成する事業実績報告書の数字である。参加者からの満足度だけでなく、経費的な数字も含めて検討し、継続するか廃止・見直しとするかを判断する重要な指標となっている。